

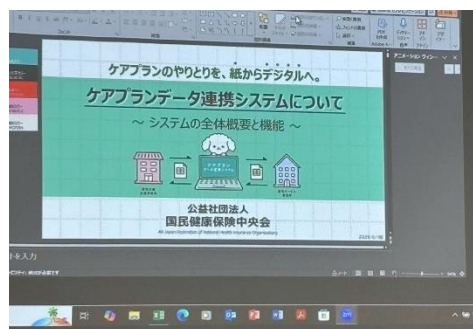
『令和7年度 富山県介護支援専門員協会 通常総会・基調講演』のご報告

報告者：ケアスタジオ介護相談所 島崎 新一



令和7年6月19日 富山県民会館において集合、オンラインでのハイブリッド形式にて『一般社団法人富山県介護支援専門員協会 令和7年度通常総会』が開催されました。

来賓の富山県厚生部 高齢福祉課長 勝山 誠司郎氏と富山県国民健康保険団体連合会 事務局長 川口 昇氏からご挨拶をいただいた後、令和6年度事業報告・同収支決算報告、監査報告、役員改正案、令和7年度事業計画案・同予算案の議事が進められ、賛成多数にて全ての報告、議案が承認となりました。



基調講演では、厚生労働省老健局支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護業務効率化推進官 長谷田 麗子氏から『介護現場の生産性向上とケアプランデータ連携システム』、公益社団法人国民健康保険中央会 保健福祉部介護保険課 寺島 秀樹氏から『ケアプランデータ連携システムについて』と題した講演をいただきました。

ケアプランデータ連携システムにつきましては、介護業界全体ではまだ広く普及が進んでいない現状にはありますが、今後の居宅介護支援事業におけるペーパーレス化、FAX等の通信費のコスト削減等や介護支援専門員および事務員の業務負担の軽減等にて生産性向上を図る為にも有効なシステムであります。尚、システム導入に際しては行政からの何らかの支援も期待しており今後に円滑に導入が出来るようになれば良いと思いました。



黒田 正一前常任理事

今年度の協会の常任理事につきましては、坂東 みゆ紀会長をはじめとした6名の方々での構成となりました。尚、協会設立の当初から常任理事を務めておられました黒田 正一氏につきましては、この度の役員交代にて常任理事を退任されることとなりました。同氏には長きに渡り多忙である常任理事を務めていただいたことには感謝の念しかありません。また、協会への多大なる貢献をいただき誠にありがとうございました。

※ この度の通常総会・基調講演は集合とオンラインによるハイブリッドにて開催されました。